

平成29年6月1日

高岡第一学園幼稚園教諭・保育士養成所  
学校関係者評価委員会報告

1. 目的

本所職員が、「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいて行った自己評価をもとに学校関係者による学校評価を行い、その評価結果を本所の教育活動の向上および学校運営の改善に生かすことを目的とする。

2. 学校関係者評価委員（任期：平成29年4月1日～平成30年3月31日）

氏名	所属	備考
金田 秀樹	高岡第一高等学校・校長	出席
中田 千津子	社会福祉法人 かづみ野 堀岡保育園・園長	出席
豊原 淳子	卒業生	欠席
堀 亜季	H28年度 父兄後援会 会長	出席
石澤 宣子	本所 所長	出席
古村 勇樹	本所 職員	出席
本林 由絵	本所 職員	出席
橋本 和美	本所 職員	出席
平川 杏奈	本所 職員	出席
渡辺 洋輔	本所 職員	出席

3. 第1回学校関係者評価委員会の開催

(1) 日時

平成29年5月18日(木) 15:00 ～ 16:00

(2) 場所

高岡第一高等学校 第一会議室

(3) 会議

委…評価委員の意見 学…学校側の意見・説明

◎H28年度の自己評価について

(学生募集)

委：「高校生のための幼児教育体験講座」は高校生が学校を知る大事な機会。そのような機会をしっかりとらえて学生募集につなげていけばよいのではないかと。

また、体験講座に参加して入学を決めた学生がどの程度いるのかをアンケートによって継続して把握していけば、何らかの参考になるのではないかと。

**学**：今年も学生募集に力をいれていきたい。具体的には「高校生のための幼児教育体験講座」の中でパワーポイントを使ってプレゼンする。積極的なアピールを盛り込むことで、附属園がたくさんあることや、学生の実習の様子などを視覚的に訴えることができる。そうすれば高校生もイメージしやすいのではないだろうか。

また、職業訓練生になるような社会人や、もう一度学び直してみたい人を対象に秋に体験講座を外部でできないか考えている。

**委**：講座を市内の子育て支援センターと共同で企画ができればよりよいのではないかと。

**委**：高校の中には、オープンスクールをインターンシップの位置づけで、キャリアパスとして積極的な参加を生徒に進めている学校が多い。今まであまり学生が来ていない進学校にも声を掛けに行ってもよいのではないかと。

**委**：県外からの学生の呼び込みについては、JRが民営化になってから特に新潟、富山間の連結がうまくいっていないため、県をまたいでの通学が難しくなっている。以前より敷居は高くなっている様である。

#### (教育成果)

**委**：集団の中において仲間と協力し、対人関係能力を身に付けることはとても大切で、良い視点で目標を立てている。保育現場での研修でも若い先生が意見が言えないことが多く、付箋に自分の思いを書いて大きな紙に貼りだしていくなどの工夫がされている。

**委**：コミュニケーション能力がこれから社会に出るにあたって更に必要になってくる。授業の中でロールプレイなど具体的な指導方法を取り入れてもらえるとありがたい。

#### (学生支援)

**学**：奨学金について。他県のように市内の学生に奨学金が出るような仕組みができないか要望していきたい。

#### ◎H29年度の重点目標について

##### (学生募集)

- 学**・学生募集は昨年度に引き続いての取り組み課題であり、力を入れていきたい。
- 高校訪問は、県内だけでなく、隣県にも足を運ぶ予定である。時期は1回目が5月～6月上旬、2回目が8月～9月と考えている。
- ・県内高校の保育系、福祉系の科やコースのある高校を把握し、そのような学校にはより丁寧に説明をしたり、話を伺ったりしていきたい。
  - ・「高校生のための幼児教育体験講座」で積極的に学校をアピールする時間を設ける。
  - ・学校外で(商業施設のフリースペース等)で一般、社会人向けのオープンスクールの機会を設けてはどうか。
  - ・本学園の法科大学や、高岡第一高校との交流も積極的にしていけたらよいかと考える。

**(学生の自己表現にむけてのサポートをし、特色のある保育者を育成する)**

- 学**・学生にとっての学校が楽しく充実したものであってほしいという願いから、児童文学部、コーラス部、ダンス部、茶道部の4つの部活を活性化していきたいと考えている。地域に学校を知ってもらう機会にもしていきたい。外部に出る活動としては、毎年児童文学部がクリスマス会等のボランティアに行っている。今年度は茶道部も地域で開催されるお茶会のお手伝いに携わったり、コーラス部やダンス部がコンクールに出場したりしていけたらと考えている。
- ・2年次の後期でゼミ形式の授業をとり入れる予定にしている。卒研の担当教員が就職や将来への不安などの相談にも乗り、いろんな面で学生をサポートしていきたい。

**◎その他**

- ・自己評価はホームページ上で公開していることを紹介する。また、学校関係者評価委員会の評価結果も公開していく旨を了承していただく。

以上